

資料7-2

■「平成24年度埋設処分業務に関する計画(案)」に対する委員会総括と措置対応(案)

委員会総括	措置対応(案)
平成24年度埋設処分業務に関する計画(案)の内容は妥当である。平成24年度の埋設処分業務に関する計画の遂行にあたっては、本審議において平成23年度の埋設処分業務の実施状況に係る各委員から出された意見等を踏まえた上で進めていくこと。	本審議結果をもって平成24年度の埋設処分業務に関する計画を策定し、同計画に従って業務を実施していく。

■「平成23年度埋設処分業務の実施状況」に対する委員の意見と措置対応(案)

項目	委員の主なご意見	措置対応(案)
1.3 立地基準及び立地手順の策定	国内外の事例を参考に立地選定方式等が整理されているが、原子力を取り巻く社会的状況を考え、丁寧な立地の進め方の視点が重要である。	原子力を取り巻く社会情勢、国における原子力政策や指針類の見直し議論等の動向を踏まえながら埋設施設の設置に適した立地基準及び手順を「埋設施設設置に関する技術専門委員会」において審議する。
1.4 埋設処分業務の総費用、収支計画及び資金計画の策定	概念設計における費用積算の単価は、原子力を取り巻く社会的状況を見ると今後変動する要因がある点に留意が必要である。	埋設事業が長期的な事業であることを踏まえて全国の平均的な単価で積算を行っている。今後、定期的かつ必要に応じて総費用の見直しを行っていく中で将来の物価変動等を反映するなどして対応していく。